

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

総合的な学習の時間における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

総合的な学習の時間における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (中学校)

1 単元の概要

学 年：第1学年

単 元 名：「地域学習」20時間扱い

単元の目標：自分の住んでいる地域のよさを生かし、課題の解決のための「アイデア」を考える活動を通して、地域資源の魅力や価値、そこにある問題点について理解し、地域課題の解決に向けた具体的な取組を考えるとともに、地域のよさを大切にしながら生活していくことができるようにする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・遠隔地にいる専門的な知識をもつ外部講師とオンラインでつないでインタビューなどを行うなど、人材不足や距離のハンディを克服することができます。
- ・収集した情報の「比較」「分類」「関連付け」をICTを活用して協働的に行い、情報の再構成を行うことができます。

3 使用したソフトや機能

- ・文書作成ソフト、プレゼンテーションソフト
- ・写真・動画撮影機能、共同編集機能
- ・ウェブ会議機能

【参考資料】

- ・GIGAスクール構想のもとでの総合的な学習の時間の指導について (中学校) (文部科学省)



総合的な学習の時間における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(中学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】

課題の設定

情報の収集



【学習場面】

- ・施設見学や、遠隔地の外部講師へのオンラインによるインタビューなど、多様な方法で情報を収集します。

【留意事項】

- ・他教科等での学習を生かし、インターネット検索、電子メールによる質問、ウェブ会議システムを利用した取材などの情報手段を意図的に選択・活用できるようにします。

【ICTの活用場面②】

整理・分析



【学習場面】

- ・共同編集機能を活用し、収集した情報等を共有しながら話し合い、情報の意味付け・価値付けをします。

【留意事項】

- ・収集した情報の重要性や信頼性を吟味し、「比較」「分類」「序列化」「関連付け」をするなどして、自分なりの考えや意見をもてるようにします。

まとめ・表現

総合的な学習の時間における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①探究のプロセスを踏まえ、目的や状況に応じた1人1台端末の活用

【課題の設定】

体験活動などを通して、課題を設定し、課題意識を高める際にICTを活用すると、グローバルな課題やローカルな課題など、個に応じた課題設定が可能になります。

【情報の収集】

必要な情報を取り出したり収集したりする際にICTを活用すると、多様な情報、多量な情報などを、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能になります。

【整理・分析】

収集した情報を整理したり分析したりして思考する際にICTを活用すると、デジタルデータを検索、分析などして情報を再構成することが可能になります。

【まとめ・表現】

自分の考えなどをまとめ、表現する際にICTを活用すると、校内に加え、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能になります。

②時間的・空間的制約を超えた活用

ICTを活用することにより、時間や空間を問わずに音声・画像・データ等を蓄積・送受信できたり、距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりが可能になります。ICTの特性を生かした単元構想の充実を図ることができます。



【参考資料】

- ・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔中学校 総合的な学習の時間〕
(文部科学省)

